

事業所名	株式会社 ハッピードア		支援プログラム (参考様式)	作成日	2024 年	9 月	12 日
法人 (事業所) 理念	【理念】：保護者様が安心して預けられる事業所を目指し子供たちが楽しく安心して過ごせる時間と空間の提供を行い、できる限りのニーズに応え、地域に愛される事業所を目指しています。						
支援方針	【方針】：子供たちの想いを尊重し、できる限りの実現を目指し、自立に向けた生活での困りごとなどを適宜対応しその時の子供の想いに合わせてサポートを行う。 また保護者支援としてできる限りの対応を行う						
営業時間	9 時	00 分	から	18 時	00 分	まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	【目標】生活：自立した日々の生活を送れるように、日常的な社会のルールやマナー・行動の理解を促し、成長していけるように支援する。 (トイレにいける、着替える、ご飯中に離席しない、箸が使える、靴を片づけれる、歯磨きができる、など) 健康：日々の健康状態を把握し、保護者様と連携し、日々の状態 (メンタル含む) を共有し、その日に合わせた支援を行う。 (検温、連絡共有、手洗いをする、うがいをする、歯磨きをする、顔を洗う、など)					
	運動・感覚	【目標】運動：使用できる部分で身体を動かし、できるだけ身体的な健康を目指し、多様な事象に触れ感覚・感性を養えるように支援する。 (公園での遊び、遊具をつかう、リズム体操、散歩、など) 感覚：たくさんのお出来ごとを見たり聞いたり体感出来るように支援する。 (物の感触を覚える、音楽を聞く、演奏する、映画を見る、遠足に行く、など)					
	認知・行動	【目標】認知：視覚・聴覚・触覚等を使用し、子供たちの認知できる部分を増やしていけるように支援する。 (色の違いを覚える、場所の違いを覚える、音の違いを覚える、など) 行動：子供たちの個性を踏まえて、小さな成功体験を増やしていき、できることを増やすとともに困りごとを減らせるように支援する。 (子供たちからの要求はできる限り答え、体験しその後の対応を促し徐々に切り替えていけるように促していく、など)					
	言語 コミュニケーション	【目標】言語：言葉と意味の理解、一致を促し、子供たちの想いを言葉にできるように促すとともに、身振り手振りなど多様な手段で伝えられるように支援する。 (絵カード・ジェスチャーで覚える、話しやすい雰囲気を作り最後まで話を聞く、言動と行動を理解できるようにスタッフと一緒に動作をする、など) コミュニケーション：個々の配慮された場面も含みつつ、共同注意、社会的なコミュニケーション方法ができるように支援する。 (言葉使い、言葉の伝わり方、読み書き、絵カード、ジェスチャーなどを覚える、など)					
	人間関係 社会性	【目標】人間関係：利用を通じて他者との交流を体験し、心の成長を促すとともに他者との関係性の作り方を学べるように支援する。 (子供たち全体での交流 (遊び)、イベント、まねっこあそび、子供たち自身の交流、など) 社会性：集団行動に参加するためのルールや、手順を理解し参加できるように支援する。 (場面に応じた動作や手順を覚える、スタッフと一緒に行動し模倣行動をする、ごっこあそび、など)					
家族支援	【指針】 保護者様の要望にはできる限りで応えられる環境づくりを行い、本人様の困りごとやご兄弟の困りごとなどの相談対応を行う。	移行支援	【指針】 進路の相談・検討を行い、必要に応じて移行先の情報共有・連絡調整を行う。				
地域支援・地域連携	【指針】 役割分担と情報共有を行い、日常的な支援に対する検討、対応を行う。また地域との交流を深めるために当事業所主体の行事などを行う。	職員の質の向上	【指針】 研修を定期的に行い、必要な情報共有、効果的な指導方法等の研修を行う。				
主な行事等	【年間行事】 お餅つき大会 (地域交流) ・バレンタイン・ひな祭り・こどもの日・七夕・BBQ・ハロウィン・クリスマス会・遠出 (年4回)						